



12 月 号

昭和58年12月1日
 編集／発行
 岡崎市教育委員会

昭和三十四年十二月二十三日に
 制定された校歌は、やがて、二十
 五年を迎える。
 校歌の碑は、開校百年記念で
 ある。

家康公のたくましい包容力を示
 す手をかたどった黒みかげの前で、
 「雨や風にも負けぬ子に……」
 と、岡崎城をのぞんで歌う子らの
 顔に、小春日和のおだやかな光が、
 うるおいと安らぎを与える。



(明るくたくましく —— 大樹寺小)

ニューヨークタイムズと週刊誌タイムが、この夏、「日本の教育」を特集して反響を呼んでいるが、ここでは逆に「イギリスの教育」を少しばかりとりあげてみたい。

イギリスの学校は、わが国とくらべると、かなり対照的な特長をもっている。ひとつは多様性を尊重する教育（きめの細かい、十把一からげでない教育）、もう一つは宗教との深い関わり合ひである。



小学校の教室に入ると、勉強はたいはい「自習」スタイルで行われている。先生は教壇に立たずに隅々こにすわつたま。一斉授業ではないのである。足し算をやる子もあれば、掛け算をする子もいる。単語をカードに写す子もいるし、むずかしい短評を読む子もいる。（これも発達には個人差が大きく、一斉授業ではうまくいかないという）飛び進級もあ

る。一人一人の知能の開花に見合った学習。個性や創造性をじっくり引き出していくやり方である。（先生はなかなかたいていへんである。テストだけでもよく通るもつらくてはならない。）なにこども

集団で能率的に処理しようとする日本式。個性中心に行こうとするイギリス式。このパターンは、そのまま国民性の違いに結びついていく。（個別指導→テュトリアル・システムは大学や放送大学にまで

— 教育随想 —

ゆとりと静けさと

— イギリスの学校 —

豊田俊雄

およんでいる。

また、宗教との関わりの深さは、学校が教会と隣り合わせに建てられていることと一つを見てもわかる。週三時間の宗教の時間。聖書と礼拝。食事まえの祈り、寝るまえの祈り—こどもはひとりだけの夜の中で神に語りかける。こどもはお行儀がいい。背すじを伸ばし澄んだ目をしている。先生の言葉づかいが、またき

わめていいのである。こどもたちは奉仕活動にも出かける。（病院の訪問、盲人のための本読み、外出の手助け）Living is giving, noblesse oblige...

大人も親切である。率直で控え目、すがすがしい人が多い。もともと階級制度の強い国で、その教育は、ジェントルマン中心のエリートのための教育であった。街からシルクハットとステッキが消え、中等教育の大衆化が漸く本格化してきたところである。大学進学率は九パーセント（日本の半）、準も受験競争もない。

「英国病」といわれる一方、英国は、過去二十年間において、自殺率の低下した先進世界唯一の国である。

わたくしが二年ほど滞在したフライイトンは、ロンドンから汽車で一時間、イングランド南岸の、老人と骨とう屋の多い町である。こどもたちはやわらかな芝生の上で、日が暮れるまで駆け回って遊ぶ。碧い海の向うは大陸である。晴れた日にはフランスが見える。ルソーの声がきこえる。

「...こどもは束縛を課せられ、徒刑囚のようにたえず勉強を強いられる。大人にとっては、再び帰ってこず、こどもたちにとっても、二度とない年月を、なぜかくもにがく苦しいことで満たそうとするのか。こどもの遊びを、たのしみを、その愛らしい本能を！」（エミール）

（アジア経済研究所・筑波大学（併任））



子どもを伸ばす朱筆

矢作北中学校

有我亮介

一つの赤丸で子どもを伸ばしている先生がいる。この先生は、「三つめの赤丸は、字のていねいな人にあげる丸だよ。」

この、小学校の先生は、また、テストにバツをうたずに、赤点でチェックをしている。そのチェックに、「できるようにしてあげられなくてごめんね。後で答えが書けるようにしてあげるからね。」という先生の心がみえるようである。

大村はま氏は、中学生のノートの誤りをただすのに「消える鉛筆」を使っている。教師の側からすると、朱書きの方が都合がいいのだが、子どもの身になるとバツがいつまでも残るのは都合が悪いだろうという配慮からである。

赤丸であれ、作文の評語であれ、朱筆の入れ方は、子どもの発達段階やその子の個性によって違うので、一概には言え

ふるさとシリーズ
—この人に聞く—

きりえの第一人者

坂部 信子 氏



「岡崎城」坂部氏の作品

今回のタイトル画は、きりえを愛知県下にはじめて普及された坂部さんの作品「岡崎城」である。代表作としては、別に「サーカス」「蒲郡港」などがある。きりえは、下絵を黒の和紙または洋紙に重ね、カッターで切り取り、その黒紙の下に色和紙を差し入れて仕上げられる。「きりえはまだこれからの分野です。はさみで切るきりえと同じものだと思います。ている方が多いですね。」

坂部さんが本格的にきりえを始めたのは、十年前。大阪での講習会に参加してからのことである。

「戦後、中国から剪紙が入ってきましたが、それを日本的にアレンジしたものがきりえなんです。愛知県は盛んな方ですが、東京や大阪ではきりえ作家が出ています。例えば、日本きりえ協会の代表である滝平二郎先生は、皆さんよくご存じだと思います。」

坂部さんは百名ほどの会員から構成さ

れている愛知きりえの会の代表でもある。「名古屋の中小企業センターで講座を受け持ったことがきっかけで、昭和五十五年に愛知きりえの会が発足しました。岡崎には岡崎きりえ同好会というサークルがあります。」

絵の専門学校を出たというわけでもない。ただ小さい時から絵をかくことは好きであったそうである。

「小学校三年生の時にすばらしい担任の先生に巡り会うことができました。とにかく楽しくかかせていただいたんです。この先生に出会っていませんでしたら、こうしてやっていたかどうかわかりませんね。小さいころから、絵は楽しいものだと思っていただけるといいなあと思います。」

教師との出会い、それが今日の坂部さんを支えている。

「下の子どもが大きくなって少し手があ

てよくスケッチに出かけました。作品は毎年春に個展を開きますので、一月にだいたい五点つくりします。ただ家族との時間を大切にしたいと思いますので、土、日曜は休みにしています。」

坂部さんは、最近、染色の勉強を始められた。「相手がなにせ単純な紙ですから、深みを出すのに大変苦勞します。市販の紙では限りがありますので、紙の染色を身につけたいと思っています。」

坂部さんは現在四つの講座を持つ。作品は菓子会社のテレビコマーションにも登場している。明日は学校の現職教育にも招かれているそうである。

きりえの振興に努める坂部さん、多忙な毎日である。

生年月日 昭19・10・1

住 所 岡崎市明大寺町下道

職 業 主婦(日本きりえ協会常任委員)



ない。しかし、子どもの身になって、子どもを励ますためと一点は忘れないようにしたい。

子どものやる気を育てるために

城南小学校

畔柳 吉朗

「きょうは字がきれいでありません。」
「先生との約束が守れませんね。」
「もっとがんばってやりましょう。」

こんな朱書きが、毎日続いたら、子どもらにとつてなんの喜びもない。うんざりである。ことあることに注意され、しかも、ノートにもこれでは、たまったものではない。

「きょうの〇〇さんのノートは、とても字がきれいだ。よくがんばったな。」

「昨日の掃除のとき、ほうきの掃き方がよかった。見ていて気持ちよかったです。」

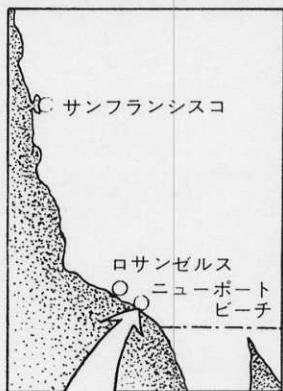
こんな朱書きが、毎日ノートに書き込まれば、子どもは、先生のことを期待して、ノートづくりに意欲を燃やすはずだ。

家庭学習での子どもは、得手して母親から尻を叩かれて、やらされている。そんな子どもに比べてやる意味でも、朱書きは、自分からやってやろうといった意気込みのわくものになってほしい。

もう一つ。子どもと教師の人間関係がペンを通して温かいものになることが多

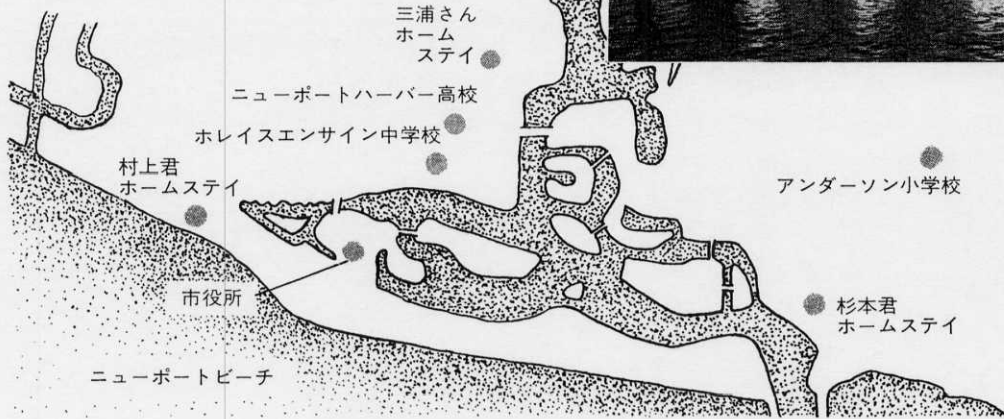


中学生の親善使節 ④



アメリカ西海岸 <行程>

- 10月12日(水) 東京発→サンフランシスコ着
- 10月13日(木)～15日(日) サンフランシスコ市内見学
(ミステリースポット、モントレー・カーメル)
(ヨセミテ公園、港湾巡り)
- 10月16日(月)～17日(火) ロサンゼルス市内見学、ディズニeland見学
- 10月18日(水)～19日(木) ニューポートビーチ市内見学、学校訪問、ホームステイ
- 10月20日(金)～21日(土) ロサンゼルス発→東京着



第4回中学生海外都市親善使節団は、10月12日から21日までの10日間の日程でアメリカ西海岸の各都市を訪問した。岡崎市の中学生代表として、村上博幸君(欠作中)、杉本哲一君(河合中)、三浦玲子さん(甲山中)、越智麻紀さん(香山中)の4名は、横井滋教育長、関原克之先生(南中)、市川修先生(城北中)とともに、ホームステイを続けながら現地の学校を訪問し、大いに親善・交流を深めた。



⑤



②



⑥

- ① ヨットやクルーザーの浮かぶニューポートビーチ
- ② サンフランシスコ港湾めぐり
- ③ サンフランシスコ市内の出店にて、大きなカボチャに思わずびっくり
- ④ デイズニールランドでの楽しいショー
- ⑤ ニューポートビーチ・アンダーソン小学校での楽しい授業風景
- ⑥ 思い出に残るニューポートビーチでのホームステイ
- ⑦ ニューポートビーチ・ホレイス・エンサイン中学校を訪問
- ⑧ ロータークラブの例会にて、会長さんにお点前を紹介



⑦



③



⑧



④

ぼく、こう歌いたい

梅園小 小林 稔子

「『あしたの朝ねすすずな』という所は、太陽と地球は遠いから大きく歌いたいと思います。』『ぼんごはんがまつてるぞ』という所は、大きくした方がいいと思います。その理由は、早く自分もごはんを食べたくて、急いでいる感じだからです。』

これは、先日の研究発表会での授業中の発言です。私は今年度初めて小学校を経験することになり、中学校とはあまりに環境が違ふことに戸惑うばかりでした。



特に音楽に関しては、技術面を重視する中学校での教え方とは全く違います。小学校では、その子がこの曲をどうとらえ、どう歌いたいと思っているかを教師側が把握し、それをクラス全体の場でも出し合い創り上げていくのです。

しかし、その曲をどうとらえよう歌いたいかを自分なりにつかまさせるためには、経験が必要なのです。

研究授業で歌った『夕日が背中を押してくる』を学習するにあたり、私は、子どもたちに、まず図書室で太陽について調べさせました。そして、太陽の必要性・感謝の思いまでも感じ取らせようとしました。

また、実際に午後六時ころ夕日を見させ、その美しさ、その時の気持ちをイメージ画として絵に描かせたり、夕日に手紙を書いて、夕日との距離を近づけさせたりしました。後で夕日を見ながら『夕日』が背中を押してくるを歌った子どもがほとんどだったと聞き、大変うれしく思いました。太陽と地球は想像を絶する距離があることが理解できているから、冒頭の前半の

ような発言ができ、夕日を見た時夕食前でおなががすいていたことを経験したから、後半のような発言ができるのだと思います。

最近、子どもたちは、こう歌いたいと思った時、その表情と声を出せるようになりました。音楽で音楽を教えていた私には、今後は、音楽で何を教えていくかが課題となっていくでしょう。

教方日々



念ずれば花ひらく

常磐中 高須 亮平

「真民先生、ありがとう。ぼくたちの気持ち伝わった。」

これは、生徒が坂村真民氏からの返事の手紙を手にした時の教室を埋めた歓声でした。私と坂村氏の詩との出合いが、生徒

へと広がることになったのです。

この四月から坂村氏の詩とそれから学びとる点を、感想として学級通信に掲載したところ、通う点があったのか、毎日の日記に次のようなものがありました。「私たちのクラスは全体的にタラケムードが深い始めてきました。だんだんひどくなるばかりです。しかし、学級通信に載る真民先生の詩の感想を話し合ったりしていくうちに、私たちの間に共通点ができてきたようです。よりまとまりを深めるため、そして、真民先生に感謝するためにお礼の手紙を出そう。」

そんな声かすべての声となり、全員が快く真民先生の詩から教えられた感想を寄せ、編集係が製本し、私の毎日の学級通信とともに送ることとなりました。そして、子期もしていなかった返事。坂村氏が学級にあてた手紙と「念ずれば花ひらく」と自筆で書かれた野の花のおし花のしおりをひとりひとりが手にすることができました。この返事の手紙は学級の宝物となり、しおりは私と生徒、生徒と真民先生をより一層結びつけるものとなったのでした。「念ずれば花ひらく」これを道徳でとりあげ、「念ずる」と



は、「努力すること。努力すれば必ず花がひらく。つまり」やればできる。そんな意味として、生徒と共に心に留めることができました。

八字十音の真言「念ずれば花ひらく」のように、生徒ひとりひとりの花がひらいていくように、私はこの詩の心を心として精進していきたいと思えます。

念ずれば花ひらく
苦しいとき
母がいつも口にしていた
このことばを
わたしもいつのころからか
となえるようになった
そうしてそのたび
わたしの花が
ひとつひとつ
ひらいていった (坂村作)



おしらせ

美川中に文部大臣賞

学校放送教育の論文で

全国放送教育研究会連盟他の主催する第二十回「学校放送教育賞」論文、共同研究の部で、美川中学校はみごと文部大臣賞受賞の栄に輝いた。去る十一月十一日熊本市で開かれた全国大会の席上表彰された。

美川中学校は、五年前からNHK教育テレビ番組「みどりの地球」を活用して大きな成果をあげている。具体的には学校裁量の時間を使い、全校一斉に番組を視聴（テレビタイム）した後、各学級で話し合い、調査研究したものを次の週に発表する（発表タイム）方法をとっている。

今回、こうしたテレビ利用の教育実践を「みどりの地球」五年間の実践と行動化」と題する

- 〔寄贈刊行物・資料等〕
- ◆教育そしてわたし 岸田達夫 B6 二八五ページ
- ◆岡崎のかたつむり類 市教委 B6 三三三ページ
- ◆考える力を育てる理科・社会科学習 藤川小学校 B5 一〇八ページ

■その他表彰

- ソニー理科教育振興資金 優良賞 大樹寺小 ビデオ機器贈呈校
- 小・竜美丘小・城北中 花いっぱいコンクール
- 最優秀賞 六ツ美北部小
- 私のアイデア貯金箱コンクール

郵政大臣賞

竜美丘小四年 藤沢弘美子

第十回冬季研修会のお知らせ

期日 昭和58年12月25・26日

会場 少年自然の家

講師 上山春平氏・鳥越信氏・小六英介氏ほか

昭和58年度秋季小中学校各種競技記録

第16回岡崎市中学校新人総合体育大会成績

10月15～23日

種目	性	1位			2位			3位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
軟式野球	男	城北	葵	岩津・甲山	城北	葵	六ツ美・矢作北	城北	葵	六ツ美・美川
ソフトボール	女	城北	葵	六ツ美・美川	城北	葵	六ツ美・美川	城北	葵	六ツ美・美川
ハンドボール	男	城北	葵	六ツ美・美川	城北	葵	六ツ美・美川	城北	葵	六ツ美・美川
軟式庭球	男	矢作	葵	城北・東海	城北	美川	河合・矢作	城北	美川	河合・矢作
卓球	男	東海	南	矢作・竜海	東海	南	矢作・竜海	東海	南	矢作・竜海
	女	東海	矢作北	六ツ美・甲山	東海	矢作北	六ツ美・甲山	東海	矢作北	六ツ美・甲山
バレーボール	男	竜海	矢作北	六ツ美・岩津	竜海	矢作北	東海・南	竜海	矢作北	東海・南
	女	竜海	矢作北	東海・南	竜海	矢作北	東海・南	竜海	矢作北	東海・南
バスケットボール	男	城北	岩津	竜海・美川	城北	岩津	竜海・美川	城北	岩津	竜海・美川
	女	葵	美川	竜海・岩津	葵	美川	竜海・岩津	葵	美川	竜海・岩津
サッカー	男	福岡	岩津	南・附属	福岡	岩津	南・附属	福岡	岩津	南・附属
剣道	男	矢作	東海	美川・常磐	矢作	東海	美川・常磐	矢作	東海	美川・常磐
柔道	男	六ツ美	福岡	附属・美川	六ツ美	福岡	附属・美川	六ツ美	福岡	附属・美川
	女	六ツ美	福岡	附属・美川	六ツ美	福岡	附属・美川	六ツ美	福岡	附属・美川
体操競技	男	竜海	東海	甲山	竜海	東海	甲山	竜海	東海	甲山
	女	竜海	美川	南	竜海	美川	南	竜海	美川	南
陸上競技	男	南	六ツ美	美川	南	六ツ美	美川	南	六ツ美	美川
	女	甲山	岩津	福岡	甲山	岩津	福岡	甲山	岩津	福岡
水泳競技	男	矢作	福岡	城北	矢作	福岡	城北	矢作	福岡	城北
	女	矢作	甲山	矢作北	矢作	甲山	矢作北	矢作	甲山	矢作北

第22回岡崎市小学校陸上競技大会成績

愛知県岡崎総合運動場 10月23日

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
男子総合	岩津	大樹寺	美合	矢南	六南	矢北
女子総合	広幡	大樹寺	梅園	羽根	六南	連尺

陸上競技個人記録

中学校

種目	男子			種目	女子		
	氏名	校名	記録		氏名	校名	記録
100M	磯谷 剛	六ツ美	12'2	100M	谷山 和美	甲山	12'9
200M	杉浦 康秀	城北	24'8	200M	近藤 直美	城北	28'1
400M	木村 毅	美川	55'9	400M	石川 見代	福岡	2'32'6
800M	寺沢 隆志	南	2'09'9	800M	石川 見代	福岡	2'32'6
1500M	尾崎 悟司	福岡	4'41'7新	1500M	尾崎 悟司	福岡	4'41'7新
3000M	神谷 栄樹	矢作北	9'37'9新	3000M	神谷 栄樹	矢作北	9'37'9新
100MH				100MH	永田 直美	城北	16'6新
110MH	玉腰 泰昌	甲山	16'9	110MH	玉腰 泰昌	甲山	16'9
走幅跳	木村 毅	美川	6m47新	走幅跳	清水 貴世	福岡	5m32新
走高跳	渋谷 尚志	東海	1m75	走高跳	水越 久乃	岩津	1m46新
棒高跳	服部 伸介	美川	2m80	棒高跳	服部 伸介	美川	2m80
砲丸投	福田 英久	矢作北	12m91	砲丸投	安井 伸江	竜海	9m77
400MR				400MR	甲山 中学校		53'2
800MR	美川 中学校		1'40'9	800MR	美川 中学校		1'40'9

新=大会新記録

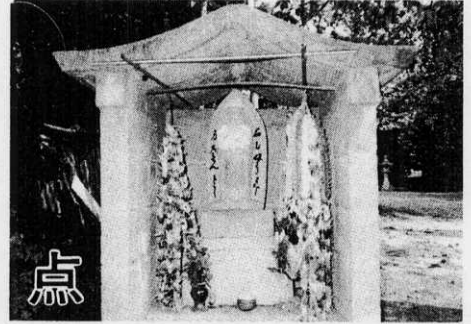
陸上競技個人記録

小学校

種目	男子			種目	女子		
	氏名	校名	記録		氏名	校名	記録
100M	岡 英範	岩津	13'4	100M	杉浦 敏子	大樹寺	14'4
60MH	伊藤 顕	岩津	9'5	60MH	中村由貴子	梅園	9'7
1000M	酒井 淳司	根石	3'10'4	1000M	加藤 由香	連尺	3'26'3
400MR	岩津 小学校		53'8新	400MR	梅園 小学校		57'2
低400MR	奥殿 小学校		59'7	低400MR	奥殿 小学校		1'02'2
走高跳	飯島 昌宏	六南	1m40	走高跳	井上由佳理	上地	1m31
走幅跳	三浦 豊	大樹寺	5m02新	走幅跳	矢藤 加織	羽根	4m52
ソフトボール投	太久保健一	矢北	61m30	ソフトボール投	松野 明子	城南	50m60

新=大会新記録

二つの渡し



大樹寺山門前を西へ下り、早川を渡ると、旧大樹寺町の氏神の天満宮がある。この境内に一体の地蔵さんがおまつりしてある。

この地蔵さんの左右には、風雨にさらされて摩耗がはげしく、判読しにくくなっているが、(右)・むねさだわたし、(左)だいもんわたし」と万葉仮名まじりの文字が読み取れる。恐らく以前は、大樹寺のお寺から大門へ通じる道と、早川沿いに上里へ向かう道との交差点あたりに、おまつりしてあったものであろう。

昭和七年発行の大日本帝国測

● カット

城南小

岡田

浩

量部による五万分の一の地形図によると、上里と対岸の旧碧海郡宗定村(現豊田市敵部東町宗定)、そして、大門と北野の間に「一岸出船の人渡」の符合がついている。上里の方の渡しには、宗定側に、大門の渡しには、大門側に船のしるしがついているところを見ると、船を出す役をそれぞれの村が負っていたものと思われる。この舟渡しも時代の波とともに消えてしまった。今では道じるしの役を終えてしまった地蔵さんであるが、地域の人々から信仰され、その心に生き続けている。

この本を

- | | |
|--------------|-----------|
| * 日本の条件 | N H K取材班 |
| 日本放送出版会 | 1,200円 |
| * 子どもたちはどこへ | 永井 道雄 |
| 講談社 | 1,000円 |
| * 運命としての学校 | 林 竹二 |
| 筑摩書房 | 1,600円 |
| * 心に豊かさを | 浜尾 実 |
| 中央出版社 | 980円 |
| * 教育の犯罪 | 有賀 幹人 |
| 国土社 | 1,300円 |
| * 家庭という学校の先生 | 外山滋比古 |
| 三修社 | 1,000円 |
| * 続・気くばりのすすめ | 鈴木 健二 |
| 講談社 | 980円 |
| * 家康の舞台 | 矢頭 純 |
| 中日新聞本社 | 1,500円 |
| * 新しい敬語 | 大石初太郎 他4名 |
| 小学館 | 980円 |
| * 椎の木学校 | 宇佐美 承 |
| 新潮社 | 950円 |

思い出の数々を残して、今年も終わろうとしている。楽しかったこと、苦しかったこと、いやな思いをしたことなど、人それぞれであろうが、できるだけ、楽しい、さわやかな思い出を残したいものだ。もっと努力や気くばりができなかつたか、新しい年にもむけて考えてみたいと思う。



「仕付け」のかかった新しい着物をおろして着る時の気持ちには、身も心もひきしまったさわやかなさがある。仕付けも新しい布地は美しく仕上がる。「嫉」をする「ことも、幼いうちほどよい」といふ。「嫉」のかけなおしをして見

苦しくならないように、親も教師も心してしつけていきたいものである。

「あさがおのたねが、八十二こもありました。一このたねがそだって」育苗から結実までの過程を見続けてきた一年生の理科ノートの一部である。あどけない入学児も、発芽に驚異の目を向け、生命の神秘を感じながら、ここに至り、心身共に逞しくなってきた。ふと、自己の成長を振り返る。

澄みわたった夜空に「すばる」の輝きが増す季節となった。「すばる」は若い太陽の集まりである。

私たちの「太陽」にリング(輪)があるという。宇宙への、未知なるものへの探究心には限りがない。

子どもたちの中に、輝くものを見つけ、引き出し、育てる教師でありたい。